

令和4年度（2022年度）学校自己評価表

天草市立本渡看護専門学校
令和5年3月

1 学校の教育目標

- 1 心豊かで円満な人間性を養うことができる。
- 2 生命の尊厳と個々の人格を尊重する態度を養うことができる。
- 3 対象である人間を総合的にとらえ、看護上の問題が解決できる能力を養うことができる。
- 4 医療チームの一員として、看護職の果たす役割と責任を自覚する。
- 5 専門職として常に問題意識を持ちつつ、生涯を通して学習に努め、看護を探究する姿勢を養うことができる。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

令和4年度目標 カリキュラムの充実を図り、育てる教育
 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止を引き続き図り、学生が単位修得できる環境を整える。
 ◎目標
 I 卒業生の市内医療機関等への就職率向上（令和4年度目標44%以上）
 市の総合計画における令和4年度の目標値50%
 II 国家試験合格率（100%）

3 評価項目の達成及び取組状況

（1）教育理念・目標

適切…4、ほぼ適切…3
やや不適切…2、不適切…1

評価項目	自己評価
・学校の理念、目的、育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	4.0
・学校における職業教育の特色は何か	3.9
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.8
・学校の理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	3.7
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	3.7

取組みの概要及び今後の課題

- ・教育目的「看護に関する基礎的な知識、及び技術を習得し、人間性を高め、主体的学習態度を養い、地域の保健医療福祉に貢献できる看護師を育成する。」ことを全職員が意識し、①卒業生の市内医療機関への就職率66.7%、②国家試験合格率81.5%であった。
- ・今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響によって、学生の学習への影響が懸念されたが、年度内の学生が履修すべき科目は教授できた。
- ・教育理念・目的・目標などを学生便覧やシラバスに明文化して学生・保護者へ周知している。令和5年度からカリキュラム変更もあり、シラバス・学生便覧の文言を職員で共通理解できるよう務めた。
- ・入学前説明会・入学式・戴帽式時に保護者への説明を行い、個別相談を設けた。

(2) 学校運営

評 価 項 目	自己評価
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.9
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.9
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.9
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.7
・ 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.8
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.6
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.8
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.4

取組みの概要及び今後の課題
・ 市の運営方針の基つき、学校設立の理念を意識し、学校運営が図られている。 ・ 年度目標を設定し、事業計画が実施されている。 ・ 運営会議、指導者会議、職員・教務会議を随時開催し学校運営が図られている。尚、運営会議は運営委員に日程調整を行い、できるだけ多くの意見がもらえるように働きかける。 ・ 学校運営に係わる情報は適宜ホームページ等で公開している。 ・ 令和5年度に成績管理システムの導入が進められており、今後業務の効率化が期待される。 ・ 業務の効率化を図るために、情報システム取り入れる必要があるが内容を充分吟味して必要なものを取り入れる。また取り入れる際には高価であるため、どのくらい効率化できたか時間外の比較をするなど比較の基準が必要である。

(3) 教育活動

評 価 項 目	自己評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4.0
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.8
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.8
・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか	3.5
・関連分野の企業、関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか	3.5
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、学習等）が体系的に位置づけられているか	3.5
・授業評価の実施、評価体制はあるか	3.9
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.5
・成績評価、単位認定、進級、卒業判定の基準は明確になっているか	3.7
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.9
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3.3
・関連分野における先端的な知識、技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.4
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3.4

取組みの概要及び今後の課題
・職業教育に対する外部関係者からの評価は、運営会議等の意見を教育内容の方法に取り入れる取組をしている。 ・本校の学納金については熊本県内で最も安く、学生及び家族の経済的負担を考えた場合、最も学びやすい学校であると考え。 ・令和4年度から全教科の授業評価を実施した。（別紙）学力向上のためには、学生のレディネスを把握し、授業の理解をさらに高められるように取り組んでいく。 ・授業評価を行ったことで、学生の理解状況が把握できた。学生と教員で意見が出やすい環境づくりが大切だと思うので授業評価は必要と考えた。 ・教育内容をシラバスや講義計画で明記し、毎時の教育内容まで周知している。 ・学習方法として、コロナ禍にて対面・遠隔授業を実施しており、学習の補償はできている。 ・地域からの講師（環境・防犯・消費者・年金・認知症）の研修を実施している。 ・関連分野に関する最近図書や学会、研究等の参加で各自が、自己研鑽している。 ・今後も、職員の能力向上のため、各種研修には積極的に参加する必要があると考える。 ・教員数にゆとりがなく、どこかが抜けてしまっていることが多かった。余裕をもって取り組むようにしたい。

(4) 学修成果

評 価 項 目	自己評価
・就職率の向上が図られているか	3.9
・資格取得率の向上が図られているか	3.9
・退学率の低減が図られているか	3.5
・卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.4

取組みの概要及び今後の課題
・令和4年度の市内就職率は50%の目標を大きく上回り、66.7%(18名)となった。この理由として、卒業生のアンケート結果より①天草市・熊本県の奨学金を受けているため、②実習を経験し、実習病院で働いてみたいと思ったから、③地域・居住環境がよいからであった。市内就職率の向上の貢献している。 ・令和4年度は1年生2名(進路変更・学習継続困難)、3年生1名(進路変更)の退学者があった。学生・保護者の意志を丁寧に確認しながら進めた。 ・新型コロナウイルス感染症罹患の学生に対して、罹患後後遺症の有無を聞き取り調査を実施し、メンタル面への支援が必要な学生を把握した。

(5) 学生支援

評 価 項 目	自己評価
・進路、就職に関する支援体制は整備されているか	4.0
・学生相談に関する体制は整備されているか	4.0
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.9
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4.0
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.5
・学生の生活環境への支援は行われているか	3.5
・保護者と適切に連携しているか	3.7
・卒業生への支援体制はあるか	3.6
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.5
・高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育、職業教育の取組が行われているか	3.7

取組みの概要及び今後の課題
・担任制や国家試験担当制を取り、より個別支援の充実を図っている。また、学生の不安や悩みに関する相談窓口が開設されており、適宜学生の相談を受けている。 ・個別に支援が必要と判断した学生においては早期に保護者との連携を図っている。 ・進学・就職に関する情報は、学生がいつでも情報を確認できるように、パンフレットなど掲示されている。 ・学生の私生活まで見ることはできなかった。面談等で必要時相談員へつなげて行くようにする ・年に1回定期健康診断が行われ、毎月健康手帳で学生の健康管理が行われている。 また、毎日学生の健康確認を行い授業・実習が行われている。 ・感染症対策については国・県の指針から検討し、感染状況を加味しながら対策を検討してきた。ワクチン接種を集団接種で、学生・保護者の同意のもと、4回目（8月16日）、5回目（12月22日）実施する。 ・新型コロナウイルス感染により欠席した学生に対して不利益が生じない対応がなされている。 ・同窓会と連携し、学校への協力（天草ハイヤの法被クリーニング代・行事毎の記念品）が得られた。 ・卒業後も図書室利用ができ、キャリア形成の一環を担っている。 ・既卒の国家試験対策は教務係長を中心に支援している。

(6) 教育環境

評 価 項 目	自己評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.5
・防災に対する体制は整備されているか	3.7

取組みの概要及び今後の課題
・「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン」の指針に基づき、施設・設備、教育体制が整えられている。また、老朽化に対しても市の整備計画に沿って改修を行っている。 ・学内実習において、リアルな症状観察を行うことができなかった。。シミュレーターモデル人形が導入されると臨床に近い状況設定が可能になり、フィジカルアセスメント能力の向上につながると考える。 ・定期的な防災訓練や消防法に基づく施設管理も実施されている。さらに、避難訓練実施の災害マニュアルを作成し、教職員及び学生に共有した。 ・コロナ禍で、広い間隔を取るために実習室を利用したため、調整しながら進めた。

(7) 学生の受入れ募集

評 価 項 目	自己評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4.0
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.9
・学納金は妥当なものとなっているか	3.9

取組みの概要及び今後の課題
・中学・高等学校などに学校案内を行い学生募集活動を広く行われている ・入学に関する諸経費や奨学金制度などを、オープンキャンパスや入学前説明会などで、適宜説明されている。また、希望に応じて個別に説明されている。 ・本校の学納金については熊本県内で最も安く、学生及び家族の経済的負担を考えた場合、最も学びやすい学校であると考え。 ・学校HP等を活用し、学生募集に関する必要な情報提供を行った。 ・推薦指定校を訪問し、学生募集要項や学校パンフレットの説明、また卒業生の進路状況や国家試験合格状況の説明を行った。 ・本校に入学実績やオープンキャンパスへの参加があった県外高校、また、県内の高校に学校パンフレットを送付しPRに努めた。

- ・在校生が出演している学校紹介動画を、学校HPに掲載しが学校のPRを図っている。
- ・本校の学納金については、熊本県内で最も安く、学生及び家族の経済的負担を考えた場合、最も学びやすい学校であるとする。

（８）財務

評 価 項 目	
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.8
・予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.8
・財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
・財務情報公開の体制整備はできているか	3.8

取組みの概要及び今後の課題

- ・公立であるため、財務基盤は安定している。予算や収支計画、会計監査、財務情報公開も市のルールに基づき行われている。

（９）法令等の遵守

評 価 項 目	自己評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.9
・個人情報に関し、その保護のための対策がとれているか	3.9
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.8
・自己評価結果を公開しているか	3.6

取組みの概要及び今後の課題

- ・法令などを遵守して適正に学校運営されていた。
- ・シラバスや実習要項に沿って進められている
- ・授業評価などで授業評価を用いて、授業にいかすことができた
- ・自己評価を実施し、問題点がある場合は、改善に向けて取り組んでいる。
- ・自己評価の結果は、学校HPで公表をしている。
- ・個人情報保護に関する情報は施錠された金庫で管理されている。また、書類等は機密文書で適切に処理されている。
- ・実習中の個人情報について扱い方を学生に研修で伝えた。
- ・個人情報の取り扱いが不十分な学生は振り返りを行った。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか	3.4
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.6
・ 地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3.7

取組みの概要及び今後の課題
・ オープンキャンパスなどで、看護演習を通して教育・健康に関する情報開示をしている ・ 授業で学習した栄養・運動のポスターを中央保健センターに掲示していただき、地域住民の方に広く見ていただくことができた コロナ禍であるため、実習前2週間や実習中は感染予防行動としてボランティアに参加できない状況が続いている。状況をみてボランティア活動を支援していきたい。 ・ 専門教育実践講座に該当する学生へ周知し、支援している。（令和4年度実績：1年生3人、2年生3人、3年生1人）

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和4年度目標 カリキュラムの充実を図り、育てる教育 令和4年度は昨年同様に対面授業が大半であった。新型コロナウイルス感染症の第7・8波の影響により、余儀なく学内実習に変更することもあった。感染者・濃厚接触者への対応等（休業補償学習の補償、実習施設の変更、学内実習など）を行い学習の機会を確保した。予防接種も5回目追加接種までできたことから、目標は達成されたと評価する。社会の状況を踏まえ感染防止対策に努める。今年度より全講師に授業評価を実施し、より看護教育の質を高める機会となった。
<目標Ⅰ> ○卒業生の市内就職率向上（令和4年度50%以上） ・ 令和4年度の天草市内の医療機関への就職者については、卒業生27人のうち18人が天草市内への就職となり、率にして66.7%で、3年続けて半数以上を確保できた。 ・ このことは、「地域の保健医療に貢献できる看護師の育成」を目標とする本校の教育目標を達成できているものとする。 ・ 今後も、この目標を継続して達成できるような学校運営を実施していく。 <目標Ⅱ> ○国家試験合格率（100%） ・ 令和4年度国家試験合格率は81.5%であった。 ・ 1年次から学習を積み上げて国家試験に取り組んだ。特に3年次は担任を中心に情報共有と全教員で個別支援の強化を図った。